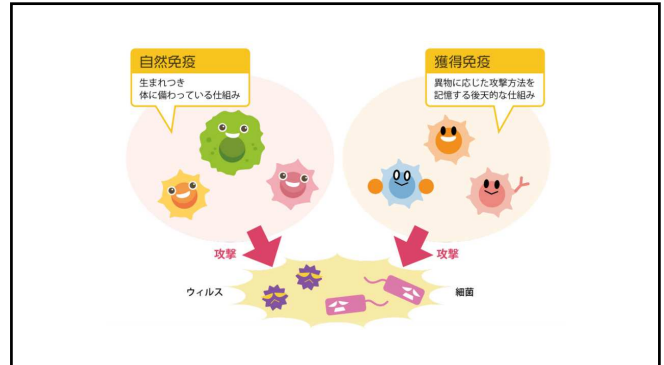


保土ヶ谷区医師会保育園医部会

講演会 + 懇談会 2024

1. コロナ禍後の子どもたちの感染症

2024.2.29



赤ちゃんは自然免疫、獲得免疫ともに未熟であり、自然免疫が発達し始めるのが1歳半頃と言われています。

獲得免疫は、一度ウイルスなどに感染し、病原体の情報を記憶することで抗体を作ることができます。

つまり、赤ちゃんは大人と比較するとウイルスなどに感染した回数が圧倒的に少ないことから、獲得免疫も未熟だと言えます。

生後半年ぐらまで

1歳ぐらになると



胎盤や母乳から抗体をもらえるが、感染力の強い病原体には弱い。



予防接種もとりあえず済み、いろいろな感染症を経験して、獲得免疫を積み上げていく。

かかっても良い感染症と、かかるといけない感染症

その中間の感染症

感染症に似ているが、そうではない重要な病気

アレルギー性鼻炎や、喘息などで、症状は似ているが感染症ではない病気

1. どうせいつかはかかるし、そのときはちょっとつらいけれど、その後、獲得免疫を得る感染症
2. 予防接種を受けて、絶対にかからないようにしておきたい感染症
3. 予防接種を受けても、かかってしまうことも多いが、予防接種は予習というように考えて、かかっても重症化しなければいいかなという位置づけの感染症
4. 感染症に似ているけれど、そうではない重要な病気
5. アレルギー性鼻炎や、喘息など、症状は似ているが感染症ではない病気



実は、私たちは、「本人の状態」のほかに、1~5を見分けることに重点をおいて診療しています。

1. であれば、熱があるかないかはあまり重要ではありません。
2. はとても大切なので、予防接種歴にはいつも注意しています。保育園の年齢であれば、他の園児が接種を受けているはずの年齢かどうかも大切です。
3. は例えばインフルエンザや、最近では新型コロナウイルスも徐々にこの仲間になってきたかも。
4. は例えば川崎病や悪性疾患がこの仲間です。
5. はアレルギー性鼻炎や喘息などですが、感染症に誘発されての症状も多いです。(特に幼児)



保育園から、「うつるものだといけないので」と言われましたという話は、よくありますが・・・


発疹があるので、「うつるかどうか」診てもらってくださいという話は、よくありますが・・・

食欲はあって元気だが、便が軟便で回数も多いので、感染性のものだとお預かりできないので・・・と言われましたという話は、よくありますが・・・

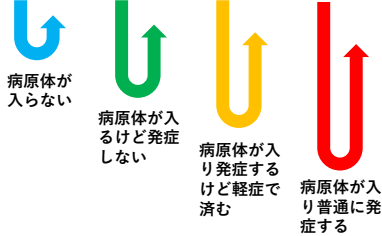
うつる

長いこと咳があるので、落ち着くまでは来てほしくないオーラ（一患者さんがよく使う表現）があったのですが・・・という話もよく聞きます。

保育園で言われる「うつる」というのは？



うつる？



病原体が入らない

病原体が入るけど発症しない

病原体が入り発症するけど軽症で済む


病原体が入り普通に発症する

保育園から「咳はうつる」と患者さんからよく聞きますが、どんな意味だろうか？

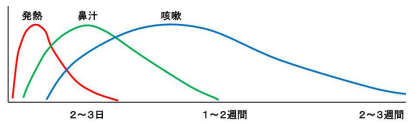
咳エチケットは保育園向けの言葉なのか？

インフルエンザで、解熱後3日したら登園したときの子どもはたいてい咳をしていると思うんだけど・・・

ライノウイルスなどの「鼻かぜ」は、広範の咳は長い。幼児の咳は、2～3週間かかることが多いが、うつるという意味ではない。



うつる




発熱 鼻汁 咳嗽

2～3日 1～2週間 2～3週間

<保育中の対応について>

保護者への連絡が望ましい場合	至急受診が必要と考えられる場合
<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事や水分を摂るとその刺激で下痢をするとき ○ 腹痛を伴う下痢があるとき ○ 水様便が複数回みられるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元気がなく、ぐったりしているとき ○ 下痢の他に、機嫌が悪い、食欲がない、発熱がある、嘔吐する、腹痛があるなどの諸症状がみられるとき ○ 脱水症状がみられるとき (以下の症状に注意すること) ・ 下痢と一緒に嘔吐 ・ 水分が摂れない ・ 唇や舌が乾いている ・ 尿が半日以上出ない ・ 尿の量が少なく、色が濃い ・ 米のとぎ汁のような白色水様便が出る ・ 血液や粘液、黒っぽい便が出る ・ けいれんを起こす

お腹が動き出して、食欲も出てくると、食後に軟便がでることはあるなあ～




<登園前に保護者から相談を受けた場合の対応について>

以下の表に該当する場合には、登園を控えるよう保護者に伝えるなどの対応が必要。

登園を控えるのが望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> ● 24時間以内に複数回の水様便がある、食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする、下痢と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合。 ● 朝に、排尿がない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる場合。

● は、読み方、受け取り方によって、かなり違ってくる印象があります。いくつかの症状が書いているが、and か or か（厳密ではないが）も考えながら、子どもの表情や食欲をみるのが大切だと思います。「食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする」ということと、「食欲が戻って食べるけれど、食後にトイレに行ったら、まだ軟便だった。元気もある。」というのは、同じではありません。感染性？と言われると、無症状になっても2～4週間は便中からウイルスは検出されるので全くないとは言えません・・・



保育園で感染症が出た場合の掲示については？

保育園における感染症対策ガイドライン 2018年改訂版

新型コロナウイルス流行前

(具体的な対応)

- ・ 保育中に感染症の疑いのある子どもに気付いたときには、医務室等の別室に移動させ、体温測定等により子どもの症状等を的確に把握し、体調の変化等について記録を行います。
- ・ 保護者に連絡をとり、記録をもとに症状や経過を正確に伝えるとともに、適宜、嘱託医、看護師等に相談して指示を受けます。
- ・ 子どもは感染症による発熱、下痢、嘔吐、咳、発しん等の症状により不快感や不安感を抱きやすいため、子どもに安心感を与えるように適切に対応します。
(参照: 『別添3 子どもの病氣 ～症状に合わせた対応～』(p.75))
- ・ 保護者に対して、地域や保育所内での感染症の発生状況等について情報提供します。また、保護者から、医療機関での受診結果を速やかに伝えてもらいます。

と書いてあるので、保育園では学校と違って、「掲示」が多いのかもしれませんが。

ただ、そう言いながら、2020年からの新型コロナウイルス感染症は、横浜市では情報は出してくれませんでした。(クラスターになってからでないと、こども青少年局にも情報が来ない)

園や学校の流行状況を情報収集して診療するという医療機関向けのガイドラインがあっても、全く機能しませんでした。

1人、2人だと個人が特定されることもあり、難しいですね。このあたりのことは、マニュアルを作っておいても、いざ大事な感染症のときには運用が変えられてしまうので、なんとも・・・